



ひの

議会だより

No. 96

平成 25 年 1 月
発行/日野町議会



12月定例会 主な内容

議長新年のあいさつ	p 2
補正予算、意見書・請願	p 2~4
決算審査回答	p 5
一般質問 (6人)	p 6~11
行政報告(東日本大震災地)	p 12~13
特集コーナー	p 16

日野町歴史民俗資料館(国登録有形文化財)＝根兩
展示作業に取り組む日野町歴史民俗資料館
友の会員

新年のあいさつ



日野町議会議長

佐々木 秀 明

新年 明けまして
おめでとうございます。

町民の皆様には、平成25年の輝かしい新春を、ご健勝で迎えられましたことと思います。心からお慶び申し上げます。

本年は、積雪も少なく穏やかな幕開けとなりました。この1年が大禍なく、過ぎればと願うところです。

さて、昨年日野町議会は、宮城県南三陸町を中心に、東日本大震災の被災地を訪ねました。

私たちは、視察を通して、防災という地域の課題を、地域に暮らす人たちがしっかりと捉え、あつてはならぬ災害に対応す

るため、自分の住んでいる地域を見つめ直すことが、必要だと感じました。

そして、地域の基礎となるコミュニケーションのこれからのあり方について、地域の歴史や人と人との絆を大切にしながらどうあるべきかみんなで考え、安心・安全な地域づくり

に努力していかねければならないと考えます。

日野町議会として議員一人一人が果たすべき責務を改めて、確認するとともに、議会活動の充実強化として、町民の皆様のご意見・ご要望を聴く活動を推進し、負託に応えるべく行動していきます。

新年を迎え、皆様と共に、いつも変わらぬ豊か

な自然と、そこに住む人々の力や文化、歴史を生かした魅力あるまちづくりを、一步一步進めていきたいと思っています。

東日本の復興の確実な歩みを感じられますよう、また、この1年が、皆様にとって、健康で実り多い年になりますよう、お祈り申し上げ、新年のごあいさつと致します。



臨時会

平成25年第1回臨時会が、1月16日に開催され、一般会計補正予算1件、議員発議による条例の一部改正1件、会議規則の一部改正1件が、審議され原案どおり可決しました。

一般会計補正予算

116万円を追加

主な歳出

障害者自立支援システム改修に係る費用 116万円

職員の給料、手当 26万円

職員の給料の減額(休職)

野田町営住宅修理費 ▲31万円

予備費の減額 ▲25万円

31万円

学校給食センター調理・配送業務を委託に出すためです。

期間 平成25年度より平成27年度までの3年間

限度額 4,500万円

1年間(1,500万円)

賛成者 竹永明文、中原明、佐々木求、小谷博徳、松原直人、松本利秋、中原信男の各議員。

反対者 梅林智子議員。

欠席者 安達幸博議員。

賛成多数で可決しました。

教育民生常任委員会でも、調査していますので、15ページをご覧ください。

条例の一部改正

◎日野町議会委員会条例の一部改正

議会広報は、特別委員会を設置し活動していましたが、活動内容に広聴を加えて、議会広報常任委員会を設置、及び地方自治法の改正に伴う条項の改正です。

常任委員会は、平成25年5月以降の選任の日から

規則の一部改正

◎日野町議会会議規則の一部改正

地方自治法の一部改正に伴うもので、議会が公聴会を開こうとするとき、議会の議決で決定するなど公聴会についての条文の追加と、参考人の出席を求めようとするときは、議会の議決で決定する改正です。

出席議員全員が賛成で可決しました。

安達幸博議員欠席

一般会計
補正予算

386 万円を追加

総額 33 億 3,159 万円

12月定例会

第9回定例会は、12月11日開会し、会期を12月18日までの8日間とし、補正予算5件、条例の制定1件と一部改正5件、規約の変更1件、土地の無償貸付1件、人権擁護委員の候補者推薦2件、意見書提出1件を原案のとおり可決、同意し閉会しました。

歳入の主なもの

分担金及び負担金

719万円

児童扶養手当給付費負担金

▲304万円

生活保護費負担金

375万円

社会資本整備総合交付金

520万円

特別医療費補助金

79万円

ふるさと納税寄附金

82万円

一般寄附金

100万円

財政調整基金繰入金

▲1,381万円

観光振興基金繰入金

18万円

愛と元気の日野町ふるさと基金繰入金

11万円

雑入

166万円

▲は、減額を表します。

歳出の主なもの

共済費

市町村共済組合負担率の変更に伴う増額

287万円

財政調整基金積立

(ふるさと納税)

82万円

財政調整基金積立

木山義喬顕彰基金

条例の目的に沿って積立

100万円

黒坂小学校体育館屋根耐震補強改修工事費

2,928万円



黒坂小学校体育館



旧焼却場解体跡地

防災諸費

日野町防災会議委員報酬

1万円

老人福祉需用費

独居、高齢者世帯見守り支援 救急医療情報キット購入費

13万円

後期高齢者医療広域連合負担金

1,074万円

特別医療助成事業費
障がい者の医療扶助費増額

370万円

請負減額

旧焼却場解体測量設計委託料

▲37万円

旧焼却場解体工事費

▲1,844万円

一般廃棄物収集運搬業務費

▲450万円

オシドリ観光パンフレット増刷費

18万円



生活保護扶助費

被生活保護者の医療分の扶助費

500万円

農業振興費

公益法人制度改革による日野町農林振興公社の一般財団法人化に伴う貸付金

500万円

特別会計補正予算

区分	補正額	総額	歳出の主なもの
介護保険	0万円	6億 402万円	科目項の振替
簡易水道	91万円	1億1,584万円	雷被害修繕費
公共下水道事業	26万円	1億2,870万円	光熱費増額
農業集落排水事業	29万円	6,871万円	光熱費増額

教育費
来春新入学児童に、記念品としてナップランドを寄贈

11万円

文化ホール修繕費
漏電遮断装置の修繕

94万円



根雨駅前 木山義喬顕彰碑

条例の制定

◎木山義喬顕彰基金条例

日野町出身の芸術家木山義喬氏の功績をたたえ、絵画等の適切な維持管理及び氏の功績を後世に伝えるための顕彰を行うこと、及び本町の文化芸術振興に資することを目的とした基金条例で、公布の日から施行するもの。

条例の一部改正

◎日野町防災会議条例の一部改正

災害対策基本法の改正に伴い、防災会議の役割の見直しがあり、公布の日から施行するもの。

◎日野町災害対策本部条例の一部改正

災害対策基本法の改正に伴い、条ずれがあり、公布の日から施行するもの。

◎日野町小集落改良住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

改良住宅の払い下げに伴い、設置住宅の一部を削除し、公布の日から施行するもの。

◎日野町消防団条例の一部改正

◎日野町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正

消防組織法の改正に伴う条ずれがあり、公布の日から施行するもの。

規約の変更

◎鳥取県西部広域行政管理組合規約の変更

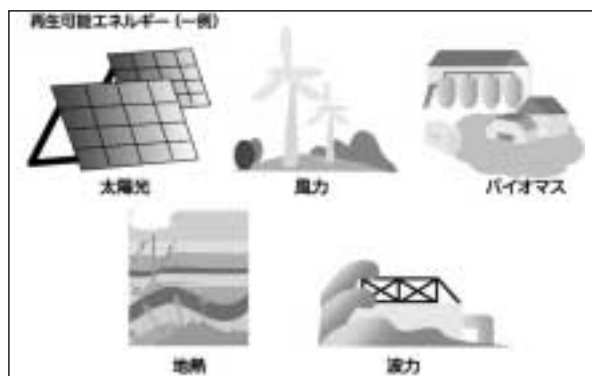
障がい者支援法が総合支援法へ名称変更したことに伴うもの。

意見書

議員発議による意見書1件を、内閣総理大臣、関係大臣等に提出しました。

●原子力から再生可能な自然エネルギーへのエネルギー源の転換を求める意見書

福島第一原発事故と同様の事態を二度と起こさぬよう、日本が世界一の地震国であることを十分に踏まえた上で、原子力発電を基幹電源とする「エネルギー基本計画」を見直し、原子力から再生可能な自然エネルギーへとエネルギー源を転換していくこと。



請願審査

◎年金2.5%削減中止を求める意見書の請願

趣旨採択（理由）

年金は老後の生活設計の核心をなすものであり、減額されることは耐え難く趣旨は理解するが、社会保障費財源の現状を考え、趣旨採択とした。

◎「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の法制化を求める意見書提出に関する請願書

採択（理由）

毎年3万人以上の人々が自死によって命をなくしており、精神疾患についての対策は急務である。よって、心の健康について総合的、長期的な政策を保障する基本法の制定は必要です。

全議員賛成で可決しました。

人権擁護委員候補者の推薦
任期満了に伴い
谷本和賀雄さん（新任）
山根美奈子さん（再任）
の推薦に同意するもの

平成23年度決算審査 指摘事項(主なもの)

の回答

指摘 収入未済額(未収金)1億1,123万円のうち、住宅新築資金等貸付金滞納分7,169万円、

指摘 上下水道等の諸設備の耐用年数が迫っています。
回答 耐用年数15年を超える施設が増加し、処理施設の稼働停止等を回避するため、定期的に点検し、上下水道施設の維持管理、延命化を図ります。

売などを含めた交通体系全般を考える中で検討したい。
住民の方々の声を伺う機会を設けた上での検討を行います。

全議員賛成	
中原 信男議員	
梅林 智子議員	
松本 利秋議員	
松原 直人議員	
小谷 博徳議員	
安達 幸博議員	
佐々木 求議員	
中原 明議員	
竹永 明文議員	
議長は、採決に加わりません。	

災害援護資金貸付金滞納分1,996万円は、

指摘 町営バス事業は運行開始以来6年余りが経過して、

回答 高温が続いた今年の夏(7月下旬)から中学校では

未収金総額の82・4%となり、町財政運営に大きな影響を与えています。その徴収は。

回答 特別徴収チームを中心に関係課の連携を密にして粘り強く徴収努力をいたします。

生徒の健康保持のため、冷房使用規定を定めてエアコンを使用しています。

回答 また、部落解放同盟下榎支部の協力体制により状況を共有し対策を講じます。

回答 町営バス事業は、これを補完するタクシー利用助成や買い物支援に資する移動販

小学校については異常な高温時には、冷房機が設置してある図書室や他目的教室などで授業を行います。

指摘 公民館運営審議会の委員の出席状況が悪い。開催時期、委員が出席しやすいよう開催日の調整などの検討をさ

回答 現在12名に委嘱しています。審議会の開催にあたっては、各委員に出席できる日時を照会して開催するように

したい。



町営バスを利用する生徒

平成24年第9回定例会採決結果一覧表

日野町防災会議条例の一部改正	
日野町災害対策本部条例の一部改正	
日野町小集落改良住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	
日野町消防団条例の一部改正	
日野町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正	
木山義喬顕彰基金条例の制定	
鳥取県西部広域行政管理組合規約の変更	
土地の無償貸付	
平成24年度日野町一般会計補正予算(第5号)	
平成24年度日野町介護保険特別会計補正予算(第2号)	
平成24年度日野町簡易水道特別会計補正予算(第3号)	
平成24年度日野町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	
平成24年度日野町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	
人権擁護委員候補者の推薦にあたり議会の意見を求めること	

文化財等の保存とデジタル化を



松本 利秋議員

答 データ化に取り組む

これらの保存の考えは。

町長 貴重な歴史的資料があることは承知しています。これらの資料を保存するための

万全な場がないのが現状です。

議員 資料保存の一つとしてデジタル(映像)化は、欠かせないものと思いますが、その取り組みはどうですか。

町長 貴重な資料を保存していくことは勿論、一方で劣化や焼失など不測の事態を考え

るとき、資料のデジタル化は有効であると思います。

まずは、データ化できるものから取り組んでいきたいと思っています。

職員の意識改革が必要

議員 町職員がイベントに参加してまちづくりを牽引し、盛り上げてほしいと、町民の声を多く聞きます。

職員の皆さんには諸事情がありとは思いますが、イベントに参加して町民と一緒に汗を流していただきたい。このことが元気なまちづくりに繋がるものと確信します。

町長 イベントの参加については、町民としての立場や町職員としての位置づけもありますので、できる限り参加すべきであり、私も職員に対しては、機会あるごとに地域行事に参加するように呼びかけています。町民の声、お気持ちは職員に伝えます。

議員 イベントに参加されないのは、まちづくりへの認識が希薄だからではありませんか、職員の意識改革を。

町長 今年度から職員による地域担当区制を実施しています。私のねらいは担当職員が地域からの声掛けにより、地域イベントに気軽に参加したり、地区の会合にオブザーバーとして参加するなど、地区に溶け込めることができればよい効果が出て来はしないかと思っています。少しずつ進めてまいりたいと思います。

安全・安心なまちづくり

議員 高齢化に対応して、指導者養成講座を開催しては。

町長 この町の頭脳集団は役場だと思っています。

その都度、もっと積極的に役場を使っていたら、地域の活性化の源になろうと思っています。



資料の展示 (町歴史民俗資料館)



鶴の池マラソン大会でのボランティア



中原 明議員

公共用財産などの 維持管理は

答 計画を作り延命化を図りたい



測量による地籍調査

議員 町有施設建造物は築後、町公舎145年、歴史資料館72年、根雨社会体育館56年等、30年以上経過の建造物が10施設あるが、他の施設等の耐用年数、法的償却年数、延命対策付加構造物の落下等の保守点検は実施されていますか。

町長 鉄筋コンクリート建物は、減価償却資産による耐用年数は50年、木造建物は24年となっている。空調、電気、給水施設は15年、小・中学校の耐震工事は、本年度で完了します。

延命化を図りたい。保守・点検を行いながら使用している。空調・給水施設等の老朽化は、早急に改修が望まれる施設もあります。

議員 公共用財産の境界は、明確ですか。

町長 宅地については、境界は明確であります。

町有林の境界と 地籍調査は

議員 山林の隣接地との境界は明確ですか。職員で所在地の把握・確認ができますか。



町有林の伐採搬出

境界杭は打ってあります。町長 造林等、施設を実施した場所は、測量図があり明確化されていますが、他の山林は、森林基本図等により位置の確認はできるが、他の隣接地の境界はできていません。

課長 境界杭については、不明確です。境界を確認できる職員はおりません。

議員 森林図が基本ですが、非常に不明確です。境界杭がないと将来困難をきたすことになり、行政管理者は、財産を守る義務があり、重要課題として取り組みませんか。

町長 理論上は言えても、現実的でなく、境界杭を打っても杭を持って逃げれば、境界

の確定はできません。地籍調査を進めていきます。

議員 理があつて物事は進められる。杭を持って逃げられても、管理者としては、理に沿って最善を尽くさしたい。

24年度で久住地区の地籍調査が終了の予定ですが、進捗率4.7%は県下でワースト2位です。測量技術は進歩している。この事業の年次計画は、どう取り組めますか。

町長 計画的に可能な限り予算措置を図り、10力年計画を立て進度を高めます。

小規模校 学力向上に挑戦を



小谷 博徳議員

答 加配教員が必要

議員 本町の義務教育は、小規模校を前提に行っており、スポーツや文化活動が十分にできない状況にあります。学

習評価はどうされていますか。
教育長 個に応じたきめ細やかな手立てと支援をメリットに、一人一人の学びを見取り個に応じた指導や支援、定期的学力調査、学習の振り返りなどを検証し評価しています。
議員 本町の小・中学校の学力水準を、どの程度に評価していますか。
教育長 町独自で行っている標準学力調査結果によると、



小人数学級

どの学年も学習指導要領に示された内容で、標準的学力水準と考えています。
議員 鳥取県教育委員会より取り寄せた資料で見ますと、県の平均値に近いところに位置していますが、平均値より優れた学校が非常に多い。教育長はどう思いますか。
教育長 複数の教員で指導したり、加配教員での個別指導など、目配りしながら取り組んでいます。個々の学力差解消に、加配教員をお願いし、一人一人の子供に対応した授業づくりが教師の使命と考え、現在に至っています。
議員 秋田県にある小さな村の小中学校は、教員数生徒数とも本町に似通っています。しかも、学力テストは全国3位を継続しています。この学校は出来ない子をなくす、平均的学力を底上げしているといわれています。これについてどう思いますか。
教育長 この内容は我々も痛



複数の先生による授業

切に感じ、日々努力をしています。その上で支援の必要の子供たちに対しては、さらにきめ細やかな指導をするためにも、加配教員が必要と考えられています。少人数なるがゆえに、個々に応じた課題提出、指導方法の工夫改善は教員の責務です。その上に毎月小学校の授業研究会を持ち日々努力をしています。

日野高校存続の取組みは

議員 日野郡の出生数は30人の時代に入りました。

日野高校の定員割れについて現実問題の対処も必要であるが、外からの応募がないと存続は難しいと考えます。
町長 郡内の子供が少ないのも事実です。そこら辺を見据えて、魅力的学校を作っているように応援団を作りました。寮もあるので、外からもたくさん来ていただくことも頭に入れて取り組みます。